

令和7年度 津工業高校生活入門講座 開催要項

- 1 趣旨 本校への進学を考えている生徒等が本校の学習内容について理解と認識を深めるための機会を提供する。
- 2 日時 令和7年8月19日(火) 9:30~12:00 (受付 9:10~)
- 3 場所 三重県立津工業高等学校
- 4 対象 中学校3年の生徒・保護者
- 5 実施内容 (例年、開始時間直後は混雑しますので、10:00~の来校をおすすめします。)
 - ①建設工学科
 - ・建築コース
コース説明・【体験・展示】CAD実習・【見学】設計製図・建築模型・木工実習
 - ・都市システムコース
コース説明・【見学】建設機械
 - ②電気科
科説明、【体験・展示】電気工事
 - ③電子科
科説明
【実演】技能検定実演(電子機器組立て・シーケンス制御)
【展示】3年生課題研究進捗状況・デジタルファブ리케이션実習装置・生徒作品
 - ④機械科
科説明、【実演・展示】旋盤作業・溶接作業・原動機性能試験
 - ⑤理科研究部 ペットボトルロケット作り(10:00~11:00 30名)
☆希望者は、受付にて配付する整理券が必要になります。※先着順
 - ⑥部活動見学 自由に見学してください
- 6 申し込み
 - (1) 申込期間 令和7年7月7日(月)~8月6日(水)
 - (2) 申込方法 参加希望生徒が各自で本校ホームページから申し込んでください。
本校ホームページのホーム画面左の『高校生活入門講座』からアクセスしてください。
(下記のQRコードからも申し込みできます。)
 - (3) 本校ホームページ <https://www.mie-c.ed.jp/ttu/html/top.htm>
- 7 服装・持参品等
 - (1) 服装は、中学校指定の制服とします。なお、指定の制服がない場合は、私服でも差し支えありません。
 - (2) 筆記用具、上履き(靴や上履きを入れる袋)、飲み物等は、各自でご用意ください。
- 8 その他:
 - (1) 開始時間直後は混み合いますので、状況によりお待ちいただく場合がございます。
 - (2) **生徒昇降口前で受付**を済ませた後、控室へお入りください。資料配付等を行ったのち各科へご案内します。
 - (3) 来校には公共交通機関を利用してください。
 - (4) やむを得ず車で送迎される場合は、通勤時間帯(7:50~8:40)の正門前の道路は非常に交通量が多くなりますので、早めの来校はご遠慮ください。
 - (5) 体験等での怪我等に備え、本校で保険に加入します。

津工業高校生活入門講座申込 QR コード

<https://forms.gle/izn3zv1FS3HrgHjz9>



事務担当 教頭・総務部
TEL 059-226-1287
e-Mail ttuad あっとmxs.mie-c.ed.jp
※「あっと」は@に置き換えてください

高校生活入門講座 実施内容

① 建設工学科

科説明	各コースの特徴と学ぶ内容について説明します。
◆建築コース	
設計製図 建築模型 (展示見学)	建物を建てるために必要になるのは設計図です。設計図では木・コンクリート・鉄などの材質によって図面の表現方法が異なります。皆さんには実際に生徒が描いた設計図を見学してもらいます。また、設計図をもとに作成された建築模型やパース(建物の完成予想図)などを見学する時間も設定しています。
CAD 実習 (展示・体験)	設計図面のほとんどがパソコンでCADを用いて描かれています。CADとは実際にはどんなものなのか。また、どんなことができるのかを実演見学を通して理解を深めてもらいます。
木工実習 (実演見学)	ノコギリ、ノミ、カンナ、カナヅチを使って簡単な木材加工の様子を見学してもらいます。併せて木工実習の生徒作品の展示も行います。
◆都市システムコース	
建設機械 (見学)	建設工事を行なっていく上で必要な建設機械の役割や基本的な操作について説明します。

② 電気科

科説明	電気科はどんなところか、国家試験などについての取り組み状況の説明をします。
電気工事(体験・展示)	基本的な屋内配線工事を解説します。

③ 電子科

科説明	電子科で学ぶ内容や関連する資格取得について説明をします。
実演	技能検定実演(電子機器組立て・シーケンス制御)
展示	3年生課題研究進捗状況 デジタルファブリケーション実習装置(レーザー加工機、3Dプリンタ等) 生徒作品

④ 機械科

科説明	機械科で学ぶ内容や関連する資格等について説明をします
旋盤	金属を削る工具(バイト)を使い、鋼材の切削加工の実演を行います。
溶接	アーク溶接の実演を行います。
原動機	原動機の性能試験の見学を行います。

⑤ 理科学研究部

ペットボトルロケット 作り体験	600mlペットボトルを使って、ミニロケットを作成します。制作に必要な部品と文房具は、全て学校が準備します。水を入れてペットボトルが作用反作用で跳ぶ仕組みも説明します。飛距離100mを目指そう!
--------------------	---